



※方位を記載してください。

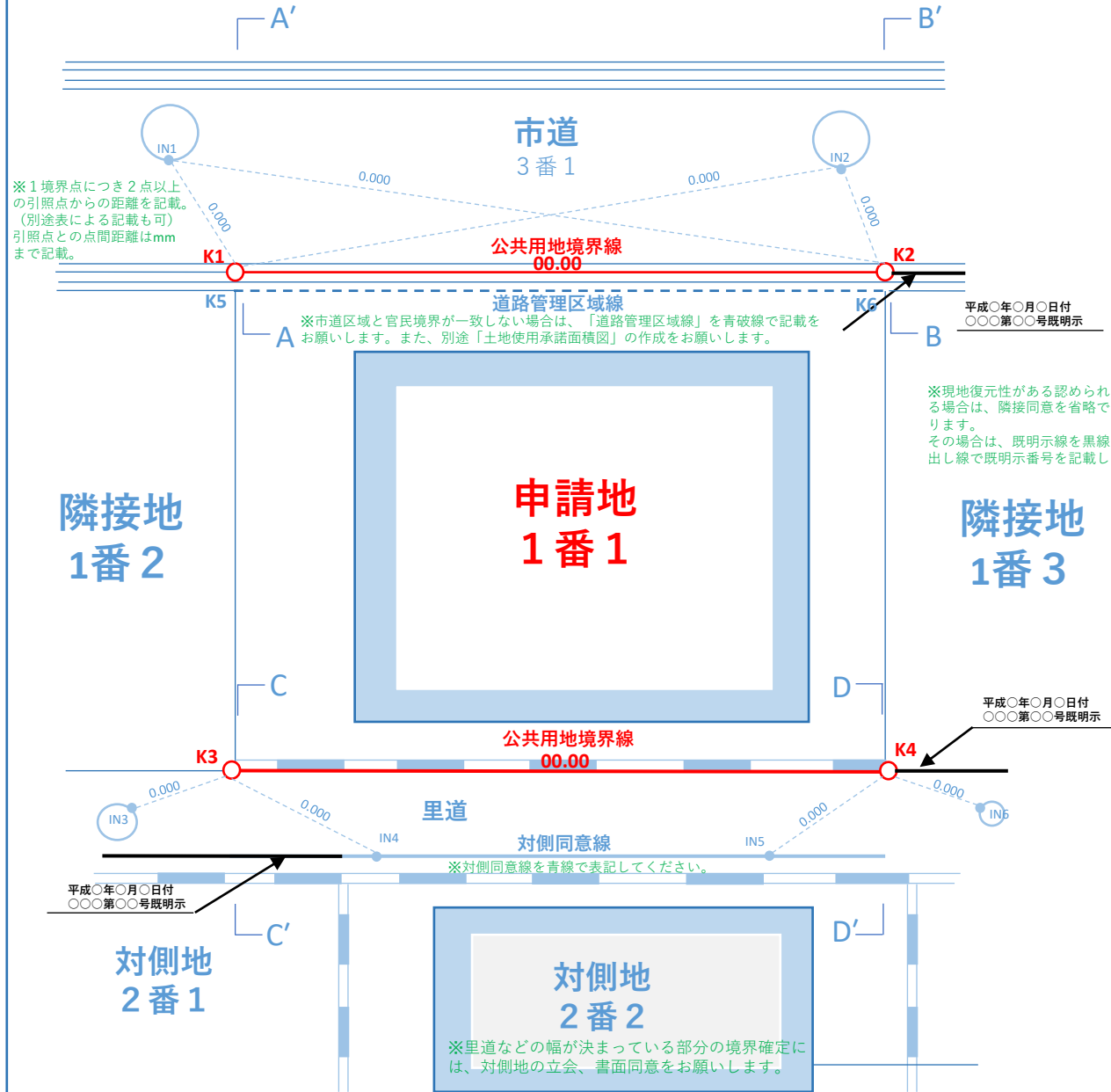
土地境界確定図

申請地 寝屋川市〇〇町〇番

平面図 縮尺=1/200

※平面図は1/250以上

A3サイズの場合、可能ならば平面図は左半分に記載をお願いします。



※1境界点につき2点以上の
引照点からの距離を記載。
(別途表による記載も可)
引照点との点間距離はmm
まで記載。

※市道区域と官民境界が一致しない場合は、「道路管理区域線」を青破線で記載をお願いします。また、別途「土地使用承諾面積図」の作成をお願いします。

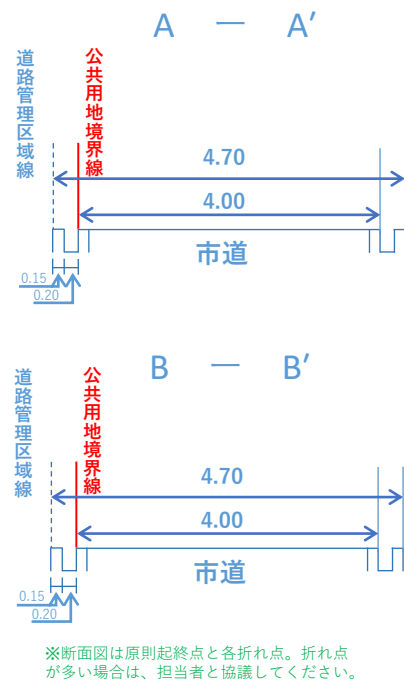
※現地復元性がある認められる既明示がある場合は、隣接同意を省略することがあります。その場合は、既明示線を黒線で引き、引き出し線で既明示番号を記載してください。

※里道などの幅が決まっている部分の境界確定には、対側地の立会、書面同意をお願いします。

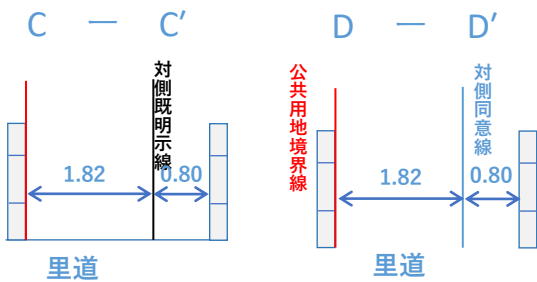
横断面図

S=1:100

※横断面図は1/100以上



※断面図は原則起終点と各折れ点。折れ点が多い場合は、担当者と協議してください。



土地境界確定書

〇〇〇〇第〇〇〇号 令和〇〇年〇〇月〇〇日立会

朱線は公共用地との境界を示すものであって隣接する他の私有地及び公共用地との境界を示すものではありません。

令和〇年〇月〇日立会 承諾 所有地と公共用地との境界は現地及び図面に朱線で表示されたとおり異議ありません			
申請地 1番1	住所 氏名	共有地であれば、全員の署名、または、代表者に委任される場合は、委任状を提出してください。相続が発生している場合は、相続関係説明図および戸籍等の書類を提出してください。	実印
隣接地 1番2	住所 氏名	隣接地や対側地が共有であれば、共有者の半数の同意をお願いします。(4人共有なら2名)	認印
隣接地 1番3	土地所有者 住所 氏名	相続が発生している場合は、『土地所有者 相続人』と記載し、相続関係説明図を作成し提出してください。	認印
対側地 2番1	住所 氏名	対側地2番1及び隣接地1番3について、既明示復元による同意省略する場合は、同意署名欄は割愛してください。	認印
対側地 2番2	住所 氏名		認印
自治会長	住所 氏名	里道などでは自治会長の同意および立会が必要な場合があります。また、水路が対側などにある場合は、水利組合の同意も必要な場合があります	認印

境界点 座標リスト

No	X	Y	標識
K1	-000000.000	-000000.000	金属プレート
K2	-000000.000	-000000.000	金属プレート
K3	-000000.000	-000000.000	金属プレート
K4	-000000.000	-000000.000	金属プレート
K5	-000000.000	-000000.000	計算点
K6	-000000.000	-000000.000	計算点

※可能であれば、管理区域線の座標を載せてください。

測量場所	寝屋川市〇〇町1番1
縮尺	平面図 1/〇〇〇 断面図 1/〇〇〇
測量年月日	令和〇年〇月〇日
作成年月日	令和〇年〇月〇日
作業機関	寝屋川市〇〇町〇〇番〇号 〇〇登記測量事務所 土地家屋調査士 〇〇 〇〇 登録番号 〇〇〇〇号 TEL: 072-〇〇〇-〇〇〇〇

引照点 座標リスト

No	X	Y	標識
IN1	-000000.000	-000000.000	マンホール枠ポンチ穴
IN2	-000000.000	-000000.000	マンホール枠ポンチ穴
IN3	-000000.000	-000000.000	マンホール枠ポンチ穴
IN4	-000000.000	-000000.000	金属鋲
IN5	-000000.000	-000000.000	金属鋲
IN6	-000000.000	-000000.000	汚水桝ポンチ穴

引照点間距離表

※平面図に記載できない(しない)場合は、表にまとめてください。

引照点は将来的に残存しやすいものを用い、かつ恒久的の構造物に設置してください。
・マンホール枠にポンチ穴を打設する。(できるだけ中心ではなく枠に)
・構造物上の既設金属票を用いる。
・金属鋲を道路構造物に設置する。

基準点網図

※世界測地系座標を使う場合は、基準点網図を作成してください。
※近傍に公共基準点が存在しない場合は、任意座標で可。

名称	X	Y	標識	縮尺係数

※資格者番号の記載と職印の押印をお願いします。

職印